筑波大学における現状の報告

筑波大学シングルサインオン 実証実験チーム

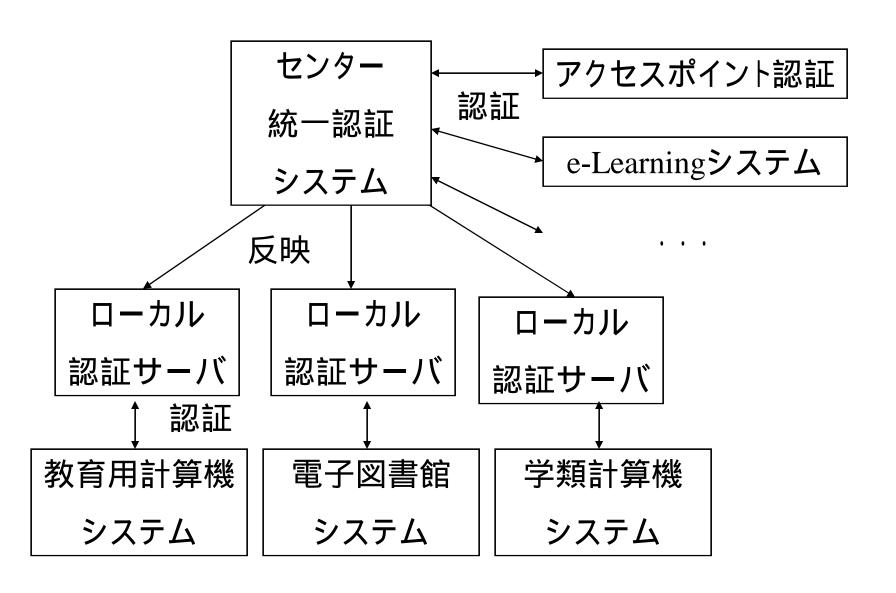
筑波大学学術情報メディアセンター 筑波大学附属図書館

(前田 敦司, 佐藤 聡, 深津 岳史,山本 淳一, 金藤 伴成)

筑波大学における 統一認証システムの現状

- 平成17年度末稼働開始
- 正規学生・常勤職員・その他(約35,000)
- OpenLDAPベース,緩やかな連携
 - LDIF形式で転送し、各ローカルサーバに反映
 - 基本的な認証機能のみ
 - ユーザID, 氏名, 所属, パスワード, + α程度
 - システムごとに異なる名前付けを許容
 - ローカルなユーザも作成可

システム構成イメージ



シングルサイオン実証実験の 状況と今後

- 実証実験説明会資料に基づきIdP構築
 - LDAPスキーマは資料のまま
 - NIIのテスト用SPとの連携実験:成功
- 属性のマッチングについての検討
- 今後の予定
 - LDAPスキーマを本学のスキーマにして実験
 - SPの構築・連携実験

UPKI連携認証基盤との属性のマッチング(必須)

利用中のスキーマとの対応付けに大きな問題はないと考えられるが、データは機械的な変換が必要

UPKI必須属性	筑波大学属性	備考
eduPersonPrincipalName	なし	uidから生成可能
О	なし	固定文字列を付与可能
ou	ou	学生は専攻レベル、職員は研究科レベル(統一されていない)日本語表記のみ
eduPersonAffiliation	(dnの一部で区別)	機械的に対応付け可能
affiliation	なし	Studentとそれ以外なら分 別可能

UPKI連携認証基盤との属性の可能なマッチング(推奨他)

- •固定文字列で対応可能なもの
 - •c, dc, Kanji Home organization, Organization path, Kanji Home organization type

UPKI必属性	筑波大学属性	備考
aid	uid	運用上の検討必要
Kanji Display Name	cn	日本語表記の姓・名はあるが,英語表記はない.
E-mail	E-mail	運用上の検討必要
eduPersonAffiliation	(dnの一部で区別)	機械的に対応付け可能
affiliation	なし	Studentとそれ以外なら分 別可能